

普天間飛行場の一日も早い返還の実現を求めて!

市政
フラッシュ

普天間飛行場の全面返還合意から20年という節目の年
佐喜眞市長が米国ワシントンDCとハワイを訪問し、要請を行いました。

普天間飛行場の全面返還合意から20年という節目の年を迎え、これ以上解決を先延ばしする事はあってはならず、一日も早い返還の実現を求めため、4月24日から5月1日までの日程で、佐喜眞市長が米国ワシントンDCとハワイを訪問し、要請行動を行いました。

ワシントンDCでは国防・国務両省の次官補代理をはじめとする米国政府関係者および、マケイン上院議員など軍事委員会に所属する連邦議会議員、さらに米国政府の政策形成に影響を持つシンクタンク関係者と面談し、ハワイでは米太平洋海兵隊司令官とそれぞれ面談をいたしました。面談先においては、普天間飛行場を抱える本市の厳しい実状を訴え、問題の早期解決のため次の4項目を要請しました。

1、普天間飛行場を絶対に固定化・継続使用せず、一日も早い閉鎖・返還を実現すること。

2、返還されるまでの間の、普天間飛行場の危険性除去および負担軽減を、日米両政府においてこれまで以上の取り組みを行うこと。

3、普天間飛行場に配備されているMV-22オスプレイを他の拠点へ移駐すること。

4、市民生活への影響が特に大きい夜間飛行及び住宅地上空における旋回飛行訓練を行わないこと。

各要請先では、返還合意の原点である、まちの真ん中にある普天間飛行場の早期の危険性除去が最優先であるという事を改めて確認するとともに、すでに20年が経過しており、早期の解決が最も重要であるという認識を共有し、今後も普天間飛行場の一日も早い返還に向け、協力して取り組んでいく事を確認しました。

主な面談者一覧

【米国政府関係者】

エイブラハム・デンマーク次官補代理
(国防総省)

カラ・アバクロンビー東アジア筆頭部長
(国防総省)

アンドリュー・ウィンターニッツ日本部長
(国防総省)

ソン・キム次官補代理
(国務省)

ジョセフ・ヤング日本部長
(国務省)

【連邦議会議員】

ジョン・マケイン上院議員

ダン・サラバン上院議員

メイジー・ヒロノ上院議員

マデリーン・ボルダリオ下院議員



マケイン上院議員



国務省(キム次官補代理、ヤング日本部長)



ボルダリオ下院議員



ヒロノ上院議員



サラバン上院議員

問合せ 基地渉外課 ☎893-4411 内線310・312